

心理的安全性を保つためのコード
レビュー文化を育てたい

takeda.k

心理的安全性とは何か

対人関係においてリスクある行動を取ったときの結果に対する個人の認知の仕方

- ・ 安心して発言・行動できる環境
- ・ チーム内の居心地の良さ

効果的なチームに必要な要素

Googleのリサーチチーム（re:Work）による調査の結果、心理的安全性はパフォーマンスの高いチームを構築するために最も重要な要素であると結論づけている



<https://rework.withgoogle.com/jp/guides/understanding-team-effectiveness>

コードレビューでも心理的安全性を保ちたい

コードレビューでは

- ・ githubを用いたテキストベースのコミュニケーションであること
- ・ 基本的には相手の考えていることとは違う意見を伝えること

の2点から心理的安全が失われてしまう傾向がある

コードレビューにおける心理的安全性

- ・ 技術レベルに関係なく誰もがレビューに参加できる環境
- ・ レビューアーが相手と相手のコードを尊重してレビューできていること
- ・ レビューイヤーがレビューアーの指摘に対して不健全な感情を抱かないこと
これによってレビューアーが意見しやすい環境になっていること

これら踏まえてコードレビューにおいても心理的安全性を保つための具体的な取り組みをいくつか提案します。



具体的な取り組み

相手の心理的安全に配慮する

- ・相手のコードを尊重したレビューを書く

相手のコードを頭ごなしに否定しない 悪い点だけでなくそのコードの中にある良い点も合わせて書く等...

例： この部分の処理はこのように書くとコードの記述量が減って良いかもしれません。とはいえ、〇〇さんの書き方の方が可読性は高いと思います。

- ・感嘆符（！）や絵文字👉を使う

テキストベースのコミュニケーションでは感情が伝わりにくく、相手の受け取り方によってはネガティブな印象を与えてしまう可能性があるため

※感嘆符や絵文字でのコミュニケーションが合わない人もいるため、その場合は相手にネガティブな印象を与えそうな表現がないか確認する

LGTMする際にLGTMなどの画像を使うのもおすすめ（私はapproveする際によく使っています）

誰でもレビューに参加できる環境を作る

・レビューイに対しての質問OK

コードの指摘だけでなくわからない箇所や難しい処理があればレビューイに対して質問する

例：

ここの処理ってこういう解釈であってますか？

これってどういうライブラリなんですか？

・感想を言うだけでもOK

指摘するところがあればコードの良い箇所に対する感想を言うという形でレビューに参加するのもOK
ポジティブな感想をもらえることでレビューイのモチベーションの向上にもつながる

例：

この書き方良いですね！参考にさせていただきます。

このライブラリの導入goodです👍

レビューアーのコメントにラベルをつける

レビューアー側のコメントの重み付け

コメントにラベルをつけることでレビューアーの意図を正しく伝えられる

レビューアーとレビューイの対等な関係づくりに寄与する

ラベル	意図
[MUST]	絶対に対応して欲しい
[IMO]	In My Opinion 提案。判断 任せる
[NITS]	nitpick 粗探し。判断 任せる
[ASK]	質問や確認
[COMMENT]	その他、感想やメモなど

例：

[MUST]

データがない時の処理がないので追加お願いします！

[IMO]

ここの変数名は〇〇ではなく××でも良いかなと思いました🤔

[NITS]

ここは変数に格納せずそのまま書いてしまっても良いかもなと思いました🤔

コードレビューのアンチパターン

1. コメントが怖い
2. 理由がない
3. 誹謗中傷
4. 大量コメント
5. 長大な議論

参考記事

<https://blog.toshimaru.net/hrt-review/>

まとめ

- 心理的安全性は安心して発言・行動できる環境のこと
- コードレビューでは相手の考えていることとは違う意見を伝えるため心理的安全性が失われやすい
- レビューごとにラベルで重み付けをすることでテキストベースのコミュニケーションにおいても正しく意図を伝えることができる
- 心理的安全性が保たれることでチームのパフォーマンス向上にもつながる
- 幸せになれる🎉

ご静聴ありがとうございました！